

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



記入日 2012 年 12 月 10 日

実践団体名		飯田市赤十字奉仕団	
連絡先		担当者：後藤武志 0265-22-4511(2437)	
プランタイトル		郷土にまつわる災害伝承紙芝居の作成と活用	
		番号*	詳細
1 プランの対象者		3・4・ 10・11	小学生高学年、中学生、地域住民、社会人一般
2 対象災害種別		3	水害（土砂災害）
3 プランの目的		8	防災意識の高揚、災害の伝承
4 協力・連携先		5・10	飯田市危機管理交通安全対策室、日赤長野県支部
5 プログラムの種類		1・3	イベント・行事、講演会等
参考 先進 事例	活動年度	年	団体名 NPO 法人都市防災研究会
	参考内容	児童を囲んで「稲むらの火」のお話と大磯での津波学習	

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に応じた アレンジ・工夫点	土砂災害や浸水が想定される地区の自主防災会等との共催による公演
実施スケジュール 内容・成果*	<p>4月8日 災害体験者からの聞き取り調査</p> <p>4月～5月 構成・脚本づくり</p> <p>5月～8月 紙芝居の作成（描画作業）[のべ12日]</p> <p>9月～11月 紙芝居の作成（描画修正作業）、紙芝居の練習[のべ17日]</p> <p>12月8日 紙芝居上演（上郷地区自主防災会との共催）</p>
全体の反省・感想・課題	<p>○30枚を超える描画作業に多くの時間を費やしたため完成が遅れてしまった。</p> <p>○聞き取り調査からは当時の貴重な話を聴く事ができ、紙芝居の中にしっかりと反映することが出来た。</p>
今後の継続予定	<p>○完成した紙芝居を使った公演を今後継続して行っていく。</p> <p>○来年度は「飯田大火とりんご並木（仮称）」の紙芝居製作を行う。</p>

※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)

<紙芝居製作風景>



<紙芝居上演風景>



2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

活動記録 記入上の留意点



活動記録の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

	項目		項目
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

	項目		項目
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

	項目		項目
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		